

## 1 土台づくり

### 1) 定量効果

NO	当初目標内容	K P I 目標	K P I 成果	KPI 達成率
1	未来志向政策提言コンテスト提案数	200 件以上	107 件	53.5%
2	志の高い取り組み報道数	10 件以上	32 件	320%
3	壁新聞発行	6 回	0 件	0%
4	資源化出来そうな困り事収集件数	20 件	20 件	100%
5	説明会・講演会回数	90 回以上	8 回	8.8%
6	全国自治体との政策連携協定	2 件	0 件	0%
7	企業との連携協定	3 件	0 件	0%
8	大学との連携協定	2 件	3 件	150%
9	町民向け啓発講座	5 件	2 件	40%
10	町民・行政職員・議員向け合同研修	1 件 (40 名)	1 件 (22 名)	100%
11	百人委員会運用	10 回	9 回	90%
12	町民広報誌づくり委員	10 名	0 名	0%
13	町民営業チームメンバー登録	30 名	0 名	0%

### 2) 定性効果

- ① 住民参加型の政策提言コンテストや百人委員会を通して町民や町出身者が町の課題を自分事として捉え、危機感と目標・目的を共有する機会が提供され、互いに「熱量」を高め合うスキームを作ることが出来た。
- ② まちづくりの主体である町民の意見を吸い上げ、行政・住民が一体感をもって課題解消に取り組む事業理念やそのスキームが、町外企業や自治体の共感を呼ぶなど、町自体のプレファレンス向上に繋がった。
- ③ 「外部メディア掲載＝外部評価」により町の取り組みに対する町民の関心度や熱量向上に繋がった。

### 3) 各事業及び成果

- ① まち・ひと・『MIRAI』創生協議会設立記念式典

#### ■ 定量効果

参加者 205 名

#### ■ 定性効果

- ・プロジェクトの本格始動が住民に広く告知と、町の進化・成長への期待感の醸成
- ・町の向かうべき方向性や目標、協議会のコンセプトの伝達と共有

- ② 全国「従業員」募集プロジェクト

#### ■ 定量効果

掲載申し込み事業者：7 件

#### ■ 定性効果

- ・町内の従業員不足に関するニーズ調査や実態把握
- ・事業者の熱量増加

- ③ 第 2 回 未来想像・創造コンテスト

#### ■ 定量効果

応募総数：合計 107 件

新聞報道：2 件

■定性効果

- ・町の課題を自分事として捉え、危機感と目標・目的を共有し「熱量」の増加
- ・町のプレファレンス向上

④ 百人委員会

■定量効果

会議実施回数：9 回

■定性効果

- ・解決に向けて知恵を出し合って真剣に取り組む意識の醸成
- ・志の高い「自ら動いてまちづくりに参加しようとする層」の町民の創出

⑤ AISAS と CMSDP 理論に基づく戦略的メディア広報

■定量効果

新聞報道：22 件

テレビ報道：3 件

雑誌掲載：1 件

WE B 掲載：5 件

Facebook ファン数：301 人、フォロワー数：318 人

■定性効果

- ・外部メディア掲載(=外部評価)により町の取組みに対する町民の関心度の向上
- ・首都圏 IT 企業に対するプレファレンス向上

## 2 『しごと』づくり

### 1) 定量効果

NO	当初目標内容	K P I 目標	K P I 成果	KPI 達成率
1	包括支援パッケージ利用者	5 事業者	16 事業者	320%
2	サテライトオフィス設置・起業を志向する方々の視察・下見支援	10 回	15 回	150%
3	サテライトオフィス誘致成功	2 事業者	0 社	0%
4	小口投資利用企業	2 社	1 社	50%
5	町内事業者の新商品開発成功	5 商品	なし	0%
6	町内有望製品の機能調査	1 品	なし	0%
7	町内事業者営業支援	10 社	6 件	60%
8	町内事業者啓発講座	5 回	2 回	40%
9	ふるさと納税販売額	150%増	対前年比 66%	66%
10	ふるさと納税町内産品占有率	60%以上	52%	86.6%
11	自立型母子家庭移住成功	2 件	0 件	0%
12	新規起業成功	3 件	0 件	0%

### 2) 定性効果

- ① 遊休公共施設を活用した地域課題解消型のサテライトオフィス事業スキーム構築
- ② 最先端技術や優秀人材を有する首都圏企業社員と町内の子どもや事業者を交流

③ 教育分野と農業分野における課題解消実験

3) 各事業及び成果

① スマートアグリ導入共同研究事業（ボッシュ）

■ 定量効果

導入1件（トライアル1件）

■ 定性効果

・ 農業事業者のデータの活用に向けた意識の向上

② 新しい農産物流通プラットフォーム活用事業

■ 定量効果

生産者新規導入6件（プラネットテーブル社）

■ 定性効果

・ 販路拡大による生産者のモチベーションアップ  
 ・ 高付加価値のある生産物に関する情報へのアクセス

③ サテライトオフィス誘致事業

■ 定量効果

お試し利用企業：16社（国内14社、海外2社）、45名

下見企業数：5社

視察：10団体

町民向けIoT講座「MIRAI塾」実施：6回

課題解消実証実験：2回

首都圏報告会：参加者：31名

町内消費効果：1社平均消費額：128,181円（16社推定合計額：2,050,896円）

■ 定性効果

・ 遊休公共施設を活用した地域課題解消型のサテライトオフィス事業スキーム構築  
 ・ 課題解消実験によって町民のICTへの理解や導入への意欲向上  
 ・ 子ども・町民の先端技術リテラシーの向上

3 『なかま』づくり

1) 定量効果

NO	当初目標内容	KPI 目標	KPI 成果	KPI 達成率
1	新規起業支援	3件	4件	133%
2	空き家バンク登録促進	30件	6件	20%
3	町支援者（ファン）名簿化	100名	400名	400%
4	町出身者名簿化	200名	430名	215%
5	インフルエンサー名簿化	50名	54名	108%
6	後継者不足事業者とのマッチング成功	1件	0件	0%
7	地元事業者と起業希望者とのマッチング成功	1件	0件	0%
8	移住者	5件	0件	0%
9	政策連携締結	0件	0件	0%

## 2) 定性効果

- ① 当町の理念に賛同する者に、丁寧に実情を説明し、移住希望者のリスト化に成功
- ② 空き家に対する町民の他人事から自分事への意識転換

## 3) 各事業及び成果

### ① 自治会対抗『空き家バンク』登録推進コンテスト

#### ■ 定量効果

登録 4 件

#### ■ 定性効果

- ・町民へ「空き家」に対する移住希望や町民のニーズの高さがあることをPR
- ・議員の空き家紹介、掘り起こし機運の盛り上がり

### ② 首都圏における移住定住希望者向け「誘致フェア」「誘致イベント」出展・参加

#### ■ 定量効果

移住フェアで個別相談を受けた人数：75名

移住者フェアがきっかけで下見来町した人数：3組（8名）

来場者リスト化：37名

#### ■ 定性効果

- ・知名度のない錦江町の移住者誘致策をPR、認知
- ・当方の理念や活動を相談者に熱意をもって訴えることによる「本気の移住希望者」のリストアップ成功
- ・子供をもつファミリー層の移住下見来町
- ・若手役場職員をイベント参加させたことによる移住者誘致を「他人事」から「自分事」化への意識醸成

### ③ 「首都圏在住者」向け IR 事業（町の取組報告会）

#### ■ 定量効果

参加者 20名

#### ■ 定性効果

- ・参加者に対する錦江町戦略取組への理解促進
- ・MIRAI プロジェクト進行に対する理解と、協力体制づくりへの機運醸成

### ④ 移住希望者視察支援

#### ■ 定量効果

移住下見者 3組8名（平均滞在日数 2.6日）

#### ■ 定性効果

- ・移住希望者の狙いや、性格などのパーソナリティーの調査ならびに対応に伴うニーズのあぶり出し
- ・来訪し、地域の人々に関わることで生まれる錦江町に対する親近感醸成

## 4 『ひと』づくり

### 1) 定量効果

NO	当初目標内容	K P I 目標	K P I 成果	KPI 達成率
1	小学生向け「英語」関連無料公営塾実施	10 回/年	13 回	120%
2	中高生向け「世界に通用する」「ICT」「AI」「AR」人材育成型公営塾実施	10 回/年	2 回	20%
3	広報誌一緒に作りたい隊員公募隊員数	10 名	0 回	0%
4	世界と日本の「潮流」と「一流の人物の考え方」を町内で学ぶ講演会実施	5 回/年	4 回	80%
5	町民公募型行政や議会との「先進地」派遣型合同研修機会実施	2 回×20 名/年	2 回×22 名	100%
6	百人委員会を通じた建設的意見交換実施	10 名×10 回/年	10 名×9 回	100%
7	集落の困りごと収集実施	困りごと収集 10 件	10 件	100%
8	高齢者の特技を登録し交流プログラムで活躍いただく登録制度制定・実施	登録者 30 名	なし	0%
9	新たな働き方実証実験（兼業・テレワーク）	10 事業所	16 事業所	160%
10	あなたの移住応援します隊員数	30 名	12 名	40%

## 2) 定性効果

- ・未来塾により ICT を実体験できる環境を提供
- ・合同研修により住民参加型まちづくりの機運醸成

## 3) 各事業及び成果

### ① 小・中学生を対象とした算数・数学と英語の遠隔授業、タブレット学習

#### ■定量効果

参加者 中学3年生 12 人、小学生 9 人

#### ■定性効果

- ・ICT 技術を活用した授業を行ったことで先端技術への子どものリテラシー向上
- ・保護者の ICT 教育への意識向上

### ② スマホで操縦できる改造ミニ四駆作製ワークショップ

#### ■定量効果

参加者 15 人(9 組)

#### ■定性効果

- ・IoT 技術を座学で学ぶのではなく、まずは「体感」させる機会創出
- ・DMM.make の技術者が来町することにより、町の取り組みへの期待感の向上

### ③ 第 2 回町民・町議会議員・特別職・行政職員合同研修

#### ■定量効果

参加者：22 名

#### ■定性効果

- ・ニセコ町側に錦江町の『MIRAI』づくりに関する本気度を伝達
- ・参加者の意識啓発

## 5 『新しい絆』づくり

### 1) 定量効果

NO	当初目標内容	K P I 目標	K P I 成果	KPI 達成率
1	全自治会で途中報告会及び意見交換会実施	91 自治会	なし	0%
2	新たな公共スキーム実証実験	3 件	なし	0%
3	小規模多機能集落実証実験	1 件	1 件	100%
4	集落ごと「移住者」応援隊員登録	50 名/年	なし	0%

2) 定性効果

- ・特記事項なし

3) 各事業及び成果

- ・特記事項なし

## 6 プロジェクト

1) 各事業及び成果

① 旧宿利原中学校 活用検討

■定量効果

ワークショップ形式の話し合い：10 回

■定性効果

- ・地域の在り方議論における「上位下達」方式から「ボトムアップ」方式への移行実験

② ふるさと納税プロジェクト

■定量効果

町内留保額の向上：

年度	納税額	町外への支出	町内留保額	留保率
2016	54,017	31,426	22,591	41.80%
2017	37,224	10,572	26,652	71.60%

町内事業者の売り上げ向上

年度	町内事業者				町外事業者			
	件数	発送数	売上額	割合	件数	発送数	売上額	割合
2016	17	1,402	5,998	24.00%	3	2,290	18,956	76.00%
2017	17	880	7,232	57.10%	3	890	5,427	42.90%

■定性効果

- ・外部専門業者から協議会へ業務を移し、町内にノウハウを残すことに寄与